



松本地域子ども応援プラットフォーム研修会

～子どもが未来に希望が持てる居場所のあり方～

現在、県内各地で子どもたちに食事の提供や学習支援、団らんの場を提供し、生活面から学習面まで多面的に支援する「子どもの居場所」が大きな広がりを見せています。

一方、長野県では、青少年の自殺率が全国に比べても高水準にあり、このような居場所につながることなく、一人孤独に悩む子ども達が一定数存在しています。

「死」を意識するほどに悩んだ子ども達に、私たち大人は何ができるでしょう？

本研修会では、死にたいほどのつらさと悩みに見舞われながらも、さまざまな大人たちとの出会いの中で立ち直った子ども達の実際の体験談をもとに、グループディスカッションを行い、これからの子どもの居場所のあり方を考えます。

彼女たちが笑顔になれた居場所とは…

子どもに関わる方なら
どなたでも!!

塩尻

第1回

2020年1月31日(金)

13:30～15:30

塩尻市北部交流センターえんてらす

松本

第2回

2020年2月12日(水)

13:30～15:30

松本合同庁舎109会議室(旧食堂)

GUEST!!

「れいちゃん」(20代女性)

小学校時代、家庭の事情から施設で過ごす。発達障害があり、できないことが多く、気苦労の多い子ども時代。「二十歳までに絶対死のう」と心に決めながらも、さまざまな大人たちとの出会いの中で、生きる希望を見出す。

どんな出会いと場が、彼女に生きる希望を与えたのか？



GUEST!!

「あいちゃん」(高校生)

中学校での小学校と異なる学校文化に違和感を持ち、不登校になる。みんなと同じようにできない自分に落ち込み、死にたいくらいつらい気持ちを抱えていた。そんな彼女が「あること」をきっかけに広い世界への展望を抱く。現在は独学で高校卒業認定検査を受検しながら次のステージへ向かう。「あること」とは一体？



両会場司会

上間 春江氏 (臨床心理士 子どものミカタプロジェクト代表)

子育て支援やスクールカウンセリングの現場にて、0歳から20歳までの幅広い年代層の子どもと、子どもに関わる大人たちへの支援を行っている臨床心理士。

ふたりが在籍する(していた)高校のスクールカウンセラーとして、死にたいくらいのつらさを抱えながらも、生きる希望を見出し、立ち直るプロセスを支えた。



主催：松本地域子ども応援プラットフォーム

共催：長野県松本地域振興局

◆問い合わせ◆

公益財団法人長野県みらい基金松本事務所 TEL/FAX : 0263-50-5535 Email: matsumoto@mirai-kikin.or.jp

この事業は、社会福祉法人長野県社会福祉協議会「地域で子どもを育むプロジェクト」の助成金を活用して実施いたします。

参加希望者は裏面申込書をご提出ください。



参加申込書

申込先

公益財団法人長野県みらい基金
TEL/FAX:0263-50-5535
MAIL:matsumoto@mirai-kikin.or.jp

下記の事項を記入して、
左記申込先までFAXまたは
メールでお申し込みください。
(申込締切:2020年1月29日(水))

フリガナ	
お名前	
ご所属 (団体・法人名等)	
お住まいの 市町村	市町村 区
電話番号	
メールアドレス	
参加希望会場	参加希望会場に、✓を記入してください。 <input type="checkbox"/> 塩尻会場(1月31日(金)) <input type="checkbox"/> 松本会場(2月12日(水))



ご参加される皆さまへ
皆さまの交流、情報交換、当日配布したいチラシ、パンフレットなどの持ち込み歓迎！

大変寒い時期ですので、
必要な方はひざ掛け等をご持参ください☆

